

栗原の稲作通信

令和3年第6号 令和3年7月21日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

□出穂期 北部平坦部・中生品種は「7月30日頃」の見込みです（平年値8月3日）

□穂もち防除 予防防除のため、水面施用剤による防除を行いましょう。

□草刈り 出穂10日前以降は控えましよう。

■気象経過

- 7月上旬は気温が低く、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。
- 7月16日頃に東北地方は梅雨明けしたと見られ（仙台管区气象台発表）、梅雨明け以降、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移しています。

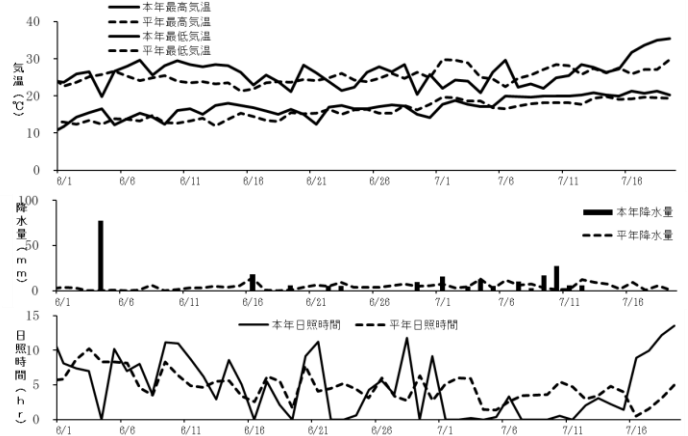
東北地方1か月予報 予報期間：7/17～8/16
令和3年7月15日仙台管区气象台発表より抜粋

予報のポイント

- 期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 期間の前半は平年と比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

**1か月の平均気温・降水量・日照時間
（東北太平洋側）**

| | | |
|------|--------|------|
| 平均気温 | 高い | 見込み |
| 降水量 | ほぼ平年並 | の見込み |
| 日照時間 | 平年並か多い | 見込み |



気象経過（アメダス築館）*点線は過去5か年平均

■生育経過

●生育調査ほ（移植）生育状況（7/20現在）

- ひとめぼれでは、草丈は平年並～やや長く、莖数は平年並～やや少なく、葉数は少なく推移しています。
- ひとめぼれでは、減数分裂期に達しています。

表1 生育調査ほ調査結果（7/20現在）

| 品 種 | 地区 | 田植日 | 草丈(cm) | | | 莖数(本/m ²) | | | 葉数(枚) | | | 葉色(GM値) | | | 幼穂長(mm) | | |
|-------|------|------|--------|---------|---------|-----------------------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|------|------|---------|------|------|
| | | | 本年 | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 | 前年差 (枚) | 平年差 (枚) | 本年 | 前年差 | 平年差 | 本年 | 前年差 | 平年差 |
| ひとめぼれ | 築館 | 5/9 | 77 | 104 | 105 | 543 | 117 | 100 | 11.6 | -0.6 | -0.8 | 44.3 | 6.1 | 8.9 | 197 | 92 | 44 |
| ひとめぼれ | 若柳 | 5/19 | 73 | 100 | 99 | 615 | 99 | 95 | 11.6 | 0.2 | -0.4 | 33.0 | -9.4 | -2.3 | 70 | 59 | 37 |
| ひとめぼれ | 一迫 | 5/8 | 71 | 105 | - | 446 | 110 | - | 11.4 | -0.8 | - | 40.4 | 1.0 | - | 92 | 66 | - |
| ひとめぼれ | 管内平均 | 5/12 | 74 | 103 | - | 535 | 107 | - | 11.5 | -0.4 | - | 39.2 | -0.8 | - | 120 | 72 | - |
| ひとめぼれ | 古川農試 | 5/10 | 81 | 122 | 117 | 583 | 121 | 105 | 11.8 | 0.8 | 0.6 | 35.7 | -3.6 | -1.4 | 77 | 68 | 47 |
| ひとめぼれ | 県平均 | - | 75 | 107 | 106 | 489 | 99 | 94 | - | - | - | 36.4 | -2.0 | 0.4 | - | - | - |
| つや姫 | 築館 | 5/24 | 74 | 114 | 108 | 463 | 101 | 90 | 11.8 | 0.5 | 0.5 | 44.7 | 0.0 | 4.0 | 1.3 | -0.3 | -1.6 |
| だて正夢 | 築館 | 5/20 | 78 | 96 | - | 434 | 84 | - | 11.4 | 0.2 | - | 39.8 | -4.0 | - | 12 | 10 | - |
| 萌えみのり | 金成 | 5/13 | 82 | 105 | 111 | 551 | 97 | 109 | 12.6 | 0.4 | 0.4 | 44.1 | -4.2 | 0.6 | 134 | 100 | 93 |

注1:平年値は過去5か年平均。

注2:一迫ひとめぼれ、築館だて正夢は令和2年から調査農家変更のため平年値はなし。

注3:ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

注4:ひとめぼれ県平均は、県内各普及センター生育調査ほ+古川農業試験場作況試験ほ（5/1,5/20移植除く）の平均値。

●直播展示ほの生育状況（7/20現在）

- 草丈は前年並、莖数及び葉数は前年より少なく、葉色は前年より淡くなっています。まもなく、幼穂形成期に達するものと見られます。

表2 直播展示ほ調査結果（7/20現在） *べんモリ湛水直播（点播）

| 品 種 | 播種日 | | 草丈(cm) | | 莖数(本/m ²) | | 葉数(枚) | | 葉色(GM値) | | 幼穂長(mm) | |
|-------|-------|-----|--------|--------|-----------------------|--------|-------|------|---------|------|---------|------|
| | 本年 | 前年差 | 本年 | 前年比(%) | 本年 | 前年比(%) | 本年 | 前年差 | 本年 | 前年差 | 本年 | 前年差 |
| 萌えみのり | 5月11日 | 3日遅 | 59 | 99 | 452 | 84 | 9.7 | -0.7 | 33.9 | -3.0 | 1.8 | -1.0 |

■今後の管理

●出穂予想

- ・今後の天候が平年並みで経過すると、中生品種の出穂期は7月30日頃（参考：平年は8月3日）の見込みです。

●生育ステージの把握 ～ ほ場ごとに幼穂長を確認して生育ステージを把握しましょう ～

表3 幼穂形成期と減数分裂期の目安

| 生育ステージ | 幼穂長 | 葉耳間長 | 出穂前日数 |
|--------|--------|---------|--------|
| 幼穂形成期 | 1～2mm | — | 25～20日 |
| 減数分裂期 | 3～12cm | -10～0cm | 15～10日 |

●追肥 ～ 極端な葉色低下を避けるため追肥を行きましょう ～

- ・極端な葉色低下により玄米品質が低下するので、品種毎に適切な追肥を行きましょう。
- ・有機入り肥料を追肥に使う場合は、肥効が現れるまで時間がかかるので早めに施用しましょう。
- ・一発型肥料を基肥に使用した場合でも、例年葉色が低下しているほ場では追肥を行きましょう。

表4 追肥時期の生育量と追肥量の目安 *生育量が目安の範囲内～下回る場合に追肥が可能です

| 品 種 | 幼穂形成期（幼穂長1～2mm） | | | 減数分裂期（幼穂長3～12cm） | | |
|-------|---------------------------|--------------|-------------------------|---------------------------|--------------|-------------------------|
| | 莖数 (本/m ²) | 葉色 (葉緑素計) | 追肥量 (窒素成分) (/10a) | 莖数 (本/m ²) | 葉色 (葉緑素計) | 追肥量 (窒素成分) (/10a) |
| ひとめぼれ | 470～530 | 38～40 | 1kg | 450～500 | 35～37 | 1kg |
| ササニシキ | — | — | — | 550～580 | 32～34 | 1～1.5kg |
| つや姫 | 550～580 | 35～37 | 2kg | — | — | — |
| まなむすめ | 580～600 | 35～37 | 2kg | — | — | — |

★だて正夢の追肥量（窒素成分量/10a）

- ・基本は「減数分裂期2kg」
- ・莖数が不足する場合は、
「幼穂形成期1kg+減数分裂期1kg」
- ・だて正夢はひとめぼれ等の他品種より莖数が少なく、葉色が濃くなる傾向にあります。生育量が表の目安を超えている場合を除いて、追肥を行きましょう。

表5 だて正夢の生育量の目安

| 項目 | 幼穂形成期 | 減数分裂期 |
|------------------------|---------|---------|
| 草丈 (cm) | 64～70 | 76～82 |
| 莖数 (本/m ²) | 390～460 | 380～420 |
| 葉色 (葉緑素計) | 40～42 | 37～39 |

★金のいぶきの追肥量（窒素成分量/10a）

- ・基本は「幼穂形成期1kg+減数分裂期1kg」
- ・金のいぶきの葉色は、ひとめぼれと比較して葉色が淡く推移し、幼穂形成期から減数分裂期にかけて、著しく低下します。安定した収量を確保するために、追肥を実施しましょう。

表6 金のいぶきの生育量の目安

| 項目 | 幼穂形成期 | 減数分裂期 |
|------------------------|---------|---------|
| 草丈 (cm) | 65～70 | 80～85 |
| 莖数 (本/m ²) | 570～620 | 490～540 |
| 葉色 (葉緑素計) | 33～35 | 30～32 |

●水管理

・幼穂形成期以降の基本的な水管理は右の表のとおりです。

表7 幼穂形成期以降の水管理

| 生育ステージ | 水管理 |
|---------|----------------------------|
| 幼穂形成期 | 中干し終了→走り水で徐々に入水 |
| ～穂ばらみ期 | 間断かんがい ※倒伏が心配される場合は飽水管理 |
| 出穂始～穂揃期 | 浅水管理 |
| 登熟期 | 間断かんがい※出穂30日後に落水 |

◎低温時の水管理

・幼穂形成期～減数分裂期にかけて、日平均気温20℃以下が続く場合、最低気温が17℃以下となる場合は、障害不稔の回避のため、深水とします。

◎高温時の水管理

・出穂後に高温が続く場合、白未熟粒により品質が低下するおそれがあります。
・高温時には走り水や飽水管理により、常に土壌を湿潤状態に保ちましょう。

●病虫害防除

*発生量等は発生予報第4号（宮城県病虫害防除所・6/25発行）に基づいています。

▷【いもち病】 | 注意報第1号が発表されました(宮城県病虫害防除所・7/9発行)。

- ・7月7日から7月13日にかけて、広域的に感染好適日が連日出現しました。現在、病斑が見られなくても、今後現れる恐れがありますので、注意しましょう。
- ・特に、ひとめぼれ、ササニシキ、萌えみのり、金のいぶき等のいもち病に弱い品種や、直播栽培、飼料用米、WCS稲等の葉色の濃いほ場では、注意して観察し、発生が確認された場合は、下記を参考に防除を行いましょ。

いもち病防除

- 穂いもち予防のため、適期に水面施用剤による防除を行いましょ。
- 「葉いもち」が確認された場合は、直ちに茎葉散布剤による防除を行いましょ。
- 「穂いもち」防除を茎葉散布剤で行う場合、出穂直前、穂揃期、その7～10日後の3回実施しましょ。

▷【紋枯病】 | 発生量は「やや多」の予報

- ・要防除水準を超えた場合は、穂ばらみ期から穂揃期に防除を行いましょ。前年発生が多かったほ場では、特に発生状況に注意が必要です。また、高温多湿で発生が増加します。
要防除水準：穂ばらみ期の発病株率 ひとめぼれ18%・ササニシキ10%

▷【稲こうじ病】 | 発生量は「平年並」の予報

- ・銅剤による防除適期は、出穂10～20日前です。穂ばらみ期に降雨日数が多いと発生しやすくなります。

▷【斑点米カメムシ類】 | 発生量は「平年並」の予報

- ・出穂直前の草刈りは、斑点米カメムシを水田に追い込むことになるので避けましょ。
- ・薬剤防除は、「穂揃期+その7～10日後」の2回防除が基本です。
本田内にイヌホタルイやノビエが発生している場合は、1回目の薬剤散布を出穂始に早めましょ。

▷【イナゴ類（コバネイナゴ）】 | 発生量は「やや多」の予報

- ・大きくなってからの薬剤防除は効果が低下するので、多発している場合は速やかに防除しましょ。

農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病虫害、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょ。最新の農薬登録情報は、(独)農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。